

R7資格学校の課題で合格できるか？

① 約15案の課題全て把握すれば合格できる



② 約15案の課題把握は膨大な時間を要する



③ S社・N社も9月には作図を多く書いた人が合格すると言い始める・・・学校の責任は？

建築資格研究会：www.kenchiku-shikaku.net

1級製図、令和7年合格するぞ「資格学校の予測課題で合格できるか？」について解説します。

S社もN社も試験対策としては、毎週少しずつ変えた予測課題約15案程度を受講生に書かせるという手法を取っています。

そこで、「この約15案で合格できるか？」となるが、結論から言うと、約15案の課題全てを把握すれば合格できます。

その理由は、毎年のS社とN社の予測課題を分析すると、約15案では本試験の約80%以上が的中しているからです。

しかし、毎週多少の変更となった約15案を把握するには、膨大な時間を要することから、日々の仕事と併用した非常に辛い学習となります。

更に、資格学校は、受講者平等性から全国共通の学習であり、9月に入ると「作図を多く書いた人が合格する」と言い始めます。

確かに約15案の課題は本試験の80%以上の的中となることから、作図を他の人より書いた人が合格しやすくなりますが、しかし、40万円以上の高額な受講料を取っていないながら、この指導は「学校の責任」としてどうかと疑問を感じます。

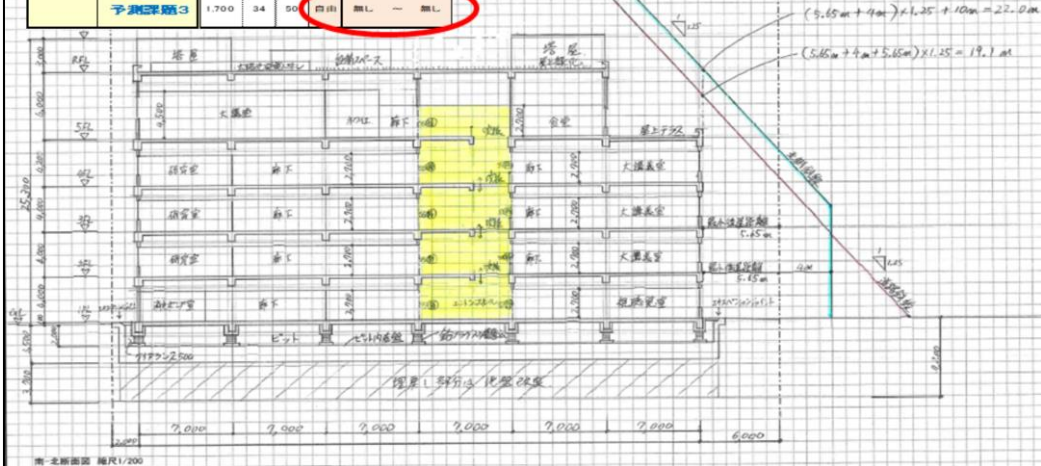
なお、S社とN社の2社で製図合格者の約9割を占めることから、資格学校の約27%以内、最低でも1/3以内に入らないと合格できません。

両隣の受講生を蹴飛ばして勝ち抜かないと合格できない現実があります。

研究会の予測課題3は階数自由が的中

各社	課題名	評定用換			階数	指定床面積	
		規模 (㎡)	幅 (m)	程 (m)		以上	以下 (㎡)～(㎡)
本試験	R6課題	1,680	48	35	自由	無し	無し
研究会	予測課題1	1,728	48	36	7階	7,200	～ 7,800
	予測課題2	1,850	50	37	3階	1,800	～ 2,200
	予測課題3	1,700	34	50	自由	無し	無し

階数自由(5階)は
予測課題3が的中



令和6年大学の階数の特徴は、「自由」での出題、その解答図では、5階が示されました。

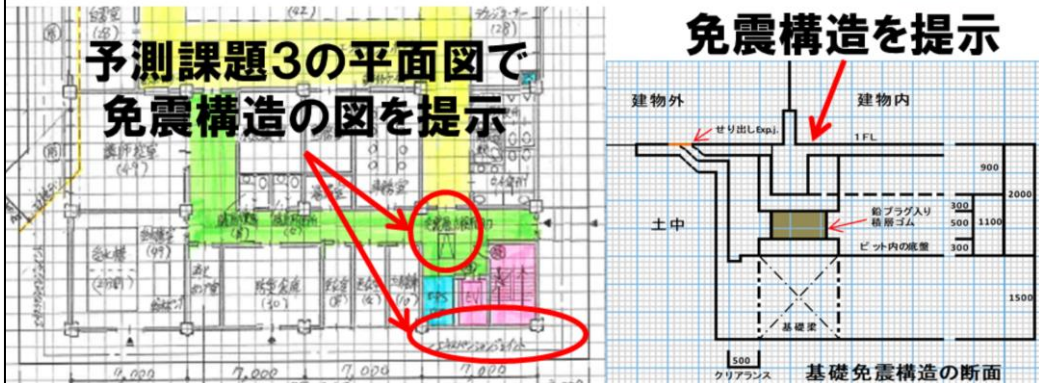
研究会の予測課題3は、「階数自由」での課題です。

また、その解答図では、下図の通り5階建てを示しました。

どちらも本試験の課題および標準解答例と一致しています(的中しました)。

研究会3案は要求室と免震構造が的中

各社	課題名	要求室											備考			
		教育部門					実用管理部門					設備		階層	形式	
		大講堂	教室	研究室	図書資料	ラウンジ	製図室	事務室	会議応接	ゴミ室	食堂					その他
本試験	R6課題	300席	大30人 中50人	50㎡ 計18室	100㎡	適宜	製図 計1700㎡	50㎡	適宜	適宜	50㎡	図書 適宜	受水槽、消火ポンプ、屋上設備	屋上階	箱1	無条件。圧縮縮小なし。透室は特殊形式。免震構造。定額斜線。50㎡以上
研究会	予測課題1		大180㎡ 中90㎡ 小40㎡	20㎡ 10室		40㎡		6人	適宜	適宜	レストラン		地下へ排水配管、消火ポンプ室、不活性ガス設備室、屋上設備	屋外下	箱1 サ1	アトリウム、エスカレーター、キヤンバス乗降、B1段直立排気等、GL-20mH10
	予測課題2		大120㎡ 中60㎡ 小40㎡	25㎡ 10室	50㎡		共同 50㎡	6人		6㎡	カフェ 20人	図書 50㎡		屋外広 場広場	箱1 サ1	50配敷地勾配確保、車道しきり等付、狭地駐車設備、B1平面図、耐力壁、防門固定なし、全透路1.8m以上、50㎡以上
	予測課題3	300㎡	大30㎡ 中50㎡ 小30㎡	25㎡ 6室	50㎡	30㎡ 40㎡	会議 100㎡	6人	適宜	10㎡	食堂 50人	図書 30㎡	受水槽、消火ポンプ室、屋上設備	屋上階 屋上下	箱1 サ1	無条件。圧縮縮小なし。大講堂は特殊形式。定額斜線。収容エスカレーター、透路斜線と北側斜線



下表は、令和6年大学の本試験の要求室と研究会の予測課題3案との検証結果です。

要求室においては、「製図室」以外の全て的中しております。

また、研究会の予測課題3は、免震構造を示しており、その解答図では「エキスパンションジョイント」と「免震層点検用出入口」を示しています。

本試験の標準解答例でも同様に「エキスパンションジョイント」があり、また階段の中に免震層への点検階段が示されました。

ただし、その階段の扉には、「特定防火設備」があり、これを書かないと法違反での一発不合格になったと推定します。

研究会の示した「免震層点検用出入口」であれば、このままの図で法適合違反となっておりません。

なお、研究会の計画の要点等では、右図の「免震構造」を示しており、ここを見た研究会の会員は、断面図でも問題なく免震構造を書くことができたと推定します。

研究会は、令和7年庁舎も3案で本試験に80%以上の中するよう全力を尽くします。

まとめ

S社・N社の課題で合格できるかのまとめ

① S社・N社も約15課題を把握で合格できる



② 課題は微妙に変えた内容で膨大な学習量



③ S社・N社の約15課題を3案にまとめると研究会の予測課題と言える・・・隣人に勝つ

建築資格研究会 : www.kenchiku-shikaku.net

S社とN社以外の資格学校の課題で合格できるか？についてまとめます。

① S社とN社も約15課題を把握することで合格できます。

そもそも1級建築士の製図試験は、S社とN社の受講生が約9割を占めるので、この2社の予測課題を学習すると合格できます。

しかし、その合格者は、令和6年なら合格率27%なので、両資格学校の中で約27%に入らないと合格できません。

② 課題は微妙に変えた内容で膨大な学習量が必要です。

S社とN社共に毎週微妙に変えた予測課題を受講生に作図させるという学習法を取っているが、その毎週の課題、試験期間中なら約15課題を全て把握するには膨大な学習量が必要となります。

③ S社・N社の約15課題を3案にまとめると研究会の予測課題と言える、隣人に勝つには併用学習がベストです。

何度も言っていますが、S社とN社が合格占有率で約90%を占めることから、結局、資格学校の中で約27%に入らないと、製図試験に合格できません。

資格学校は、受講者平等性から全国共通学習法であり、9月に入ると「作図を多く書いた人が合格できる」としか言わなくなります。

資格学校の両隣の人に勝たないと合格できません、そのためには、たった3予測課題で9年間連続で本試験の80%以上を的中させている研究会の予測課題を併用利用して、両隣の人に勝ってください。

資格学校の約15案をまとめた課題の学習法ともなりますし、更にS社とN社の予測課題の概要も把握できます。年会費たったの3万円ですので、是非併用利用をご検討ください。

以上で令和7年の製図に合格するぞ「資格学校の課題で合格できるか？」の説明を終了します。